

UEC 国際特別プログラム (MICH/AiQuSci)

私費外国人留学生および日本人学生の参加者募集

1. 募集概要

UEC 国際特別プログラム (MICH/AiQuSci) は、国費外国人留学生、私費留学生及び日本人学生が共に学び、競い、理解し合う国際的な協修教育プログラムを目指しています。

2021 年 10 月期の新規来日する国費外国人留学生 16 名の入学に合わせて、この度、プログラムに参加する私費留学生 16 名、日本人学生 32 名を募集します。

1-1 国費外国人留学生特別プログラム MICH 及び AiQuSci とは

本学では、文部科学省が公募している国費外国人留学生特別プログラムにおいて、以下の 2 つのプログラムが採択されています。

MICH (ミッチ) : Multifaceted International Collaboration Hubs

http://www.fedu.uec.ac.jp/en/future_students/mich/

AiQuSci (アイクシー) : AI and Quantum Sciences for Developing Innovative Human Resources

http://www.fedu.uec.ac.jp/en/future_students/aiqusci/

MICH では、学生が情報系の BAIS (Big data、AI、Security に通じる学問体系) と理工系の M/MES (Mechanical/Material Engineering Science) という対比的な学問体系の両方を体験し、幅広い素養を持つ国際的な技術者・研究者の育成を目指しています。

AiQuSci も同様に、量子科学分野と人工知能分野という 2 つの学問体系の両方を体験することで、自らの専門分野に閉じない国際的な技術者・研究者の育成を目指しています。

1-2 UEC 国際特別プログラム (MICH/AiQuSci) とは

国費外国人留学生を海外から採用する文部科学省の国費外国人留学生特別プログラム MICH 及び AiQuSci では、国費外国人留学生と本学の私費留学生及び日本人学生を対象にした共修教育プログラムを実施します。

この学内で実施される国費外国人留学生、私費留学生、日本人学生の共修教育プログラムを「UEC 国際特別プログラム (MICH/AiQuSci) (以下特別プログラム)」とし、この度、私費外国人留学生及び日本人学生の参加者募集を行うこととなりました。

海外から来日する国費留学生にとっては志望する研究テーマで学位を取得することが主な目的ですが、本特別プログラムの眼目は、実施するイベントや指定する科目に私費留学生および日本人学生の参加を可能とすることで国費留学生との協修の場を提供し、互いに言葉と文化の壁を越えて国際的に活躍できる人材へ成長する機会を設けることです。すな

わち、プログラムごとに毎期国費留学生 8 名、私費留学生 8 名、日本人学生 16 名、総数 32 名が参加し、学生達が協働しながら学修するシステムです。

1-3 UEC 国際特別プログラム (MICH/AiQuSci) へ参加して得られるもの

様々な背景をもつ学生が集う環境での協修を通じて、言葉と文化の壁を越えた相互理解が出来るようになるでしょう。国際的なネットワークを築く第一歩となるでしょう。そして、以下のようなメリットがあります。

① 私費外国人留学生

日本人の仲間を作りたいと思っている留学生にとっては良い機会となるでしょう。また、日本人の友人が多く、日本の事情に十分習熟している人でも、日本の社会により深く溶け込むためには多くの交流の機会が望まれます。国籍の異なる留学生との交流もネットワーク構築に有用です。また、ランゲージパートナーの活動を通じて言葉の習熟度が高まるでしょう。

② 日本人学生

国際交流に関心があり外国人の友人を作りたい、やがて留学して国際的な場で活躍したい等、様々な形で直接的に世界と関わりたいと考えている学生にとっては、普段から海外出身の学生諸君との交流経験を積んでおくことで、目的貫徹のハードルを下げる絶好の機会となるでしょう。

一方、留学生の多くは、恥ずかしがり屋の日本人学生との交流がなかなか難しいと感じているようです。彼らに寄り添える empathy を持ち、彼らの視点から自分自身を見ることは、世界の人々と協調して活躍するために大切な心構えです。

1-4 期待される役割

原則的に、日本人学生と国費・私費留学生でペアリングし、以下の活動に参加します。

- ・ランゲージパートナーとなり、日本語、英語、第 2 外国語等の習得支援を行うこと
- ・お互いに友達になること
- ・本特別プログラム指定の授業やイベントにペアでできるだけ参加すること
- ・ペアを超えてお互いの知人やグループを紹介するなど、幅広く日本人、留学生のネットワークを広げていくこと

※ 日本語が流暢な留学生は、日本人学生と同様に日本語支援役のランゲージパートナーになることも可能です。

2. 特別プログラム詳細

2-1 特別プログラム参加と特別プログラム修了

本特別プログラムに参加する国費外国人留学生は、入学時から本特別プログラムに参加が義務づけられ、卒業までに本特別プログラム固有のプログラム修了要件を満たす必要があります。

一方で、今回募集する私費外国人留学生、日本人学生は、入学から卒業まで本特別プログラムに参加が求められるわけではなく、1学期のみ、1年間のみといった限定期間のプログラムへの参加が可能です。多くみなさまは、在学中に本特別プログラムを知り、在籍途中から卒業までの期間に参加することが多いでしょう。

以下にプログラム参加とプログラム修了について説明します。

2-2 特別プログラム修了

特別プログラム参加後に、学位課程修了（卒業）までに 2-2-1 に記載のある特別プログラム修了要件を満たしていれば、プログラム修了となり、学位記と同時に特別プログラム修了証を発行します。

2-2-1 特別プログラム修了要件

これらの特別プログラムでは、通常の学位取得のための課程・コースのカリキュラム履修は必須であり、学位取得時に MICH 及び AiQuSci 独自の下記修了要件を満たしている場合に、学位取得と同時に特別プログラム修了となります。

- ① 本特別プログラム参加学生は、所属する専攻の専門科目を少なくとも1つ履修し、他専攻の専門科目もしくは添付資料1に示す科目群から少なくとも1科目履修又は聴講する必要があります。
- ② 本特別プログラムの参加要件として、各学期末に実施される UEC International mini-Conference for Student on Informatics, Sciences and Engineering (UEC mini-Conference) に毎回参加することが求められます。(添付資料2参照)
- ③ 添付資料2のイベント(学会、講義、合宿、インターンシップ、短期留学、アカデミックイベント等)について、希望者は参加することができます。

2-2-2 特別プログラム修了証

学位課程修了(卒業)までに特別プログラム修了要件を満たしていれば、学位記と同時に特別プログラム修了証を授与します。

2-3 特別プログラム参加

国費外国人留学生を除き、私費外国人留学生と日本人学生は、特別プログラムには在学中に毎学期新たに参加することができます。一度特別プログラムに参加した後は、原則的に学位取得まで参加することが望ましいですが、個別の事情により、学位取得前でもプロ

グラム退会することもできます。

2-3-1 特別プログラム参加要件

これらの特別プログラムでは、通常の学位取得のための課程・コースのカリキュラム履修は必須であり、参加毎学期、MICH/AiQuSci 独自の下記参加要件を満たすことが要請されます。

- ① JUSST mini conference に毎回聴講・参加する（必須）。但しポスター発表や口頭発表は任意。
- ② ランゲージパートナーとして、留学生及び日本人双方が語学学習の支援を行う（必須）
- ③ 特別プログラムで指定する授業やイベントにペアで参加する（任意）

2-3-2 特別プログラム参加証

特別プログラム参加後、毎学期参加要件を満たしていれば、学期末に特別プログラム参加証を発行します。

3. ランゲージパートナー制度について（詳細後日）

特別プログラムでは、国費・私費留学生と日本学生のペアリングを行い、ランゲージパートナーとして、互いに語学学習支援を行います。

3-1 ランゲージパートナー制度の義務

- ・相互の語学学習意欲に応じて、語学学習に協力すること
- ・毎学期末に、その学期に相互にどのような言語学習を行ったか報告書（レポート）を提出すること
- ・ペアだけでなく、できるだけ相互に友達等を交えてグループ交流やネットワーク形成の機会に取り組むこと
- ・最低時間数は設定しないが、学生同士のペアによる言語学習、ネットワーク形成がプログラムの趣旨の一つであることを理解しておくこと
- ・ZOOMや対面等は問わない。双方にとって利便性の高い方法で行うこと。

3-2 ランゲージパートナーのペアリングについて

- ・ランゲージパートナーは、応募時の希望アンケートに添って、委員会でペアリングを行います。但し、性別、希望する日本語レベル、第2外国語の希望の有無、希望する時間数等の要件によっては、必ずしも希望通りにはいかないことがあることを了承ください。

5. 特別プログラム参加特典

特別プログラム参加者には、プログラム参加要件を満たす場合には、以下の支援が行われます。

5-1 特別アワード（詳細後日）

本特別プログラムに参加する学生（国費留学生は除く）にはその貢献、とりわけランゲージパートナーの活動に対し特別アワードとして毎学期2万円が授与されます。

5-1-1 特別アワード授与要件

- ・ペア学生と共に、その学期の UEC mini conference に参加すること（必須）
- ・相互にランゲージパートナーとして活動し、学期末に報告書（レポート）を提出すること（必須）
- ・日本国内に本人名義の銀行口座を持っていること（必須）
- ・ペア学生と共に、授業やイベントに参加していること（任意）

5-1-2 特別アワード支給方法

毎学期末を目処に国内銀行口座に振込を行います。

5-2 プログラム指定イベントへの旅費や参加費の支援（詳細後日）

本特別プログラムが指定するイベント等に参加することで発生する旅費や参加登録料等の支援が受けられます。但し、国外インターンシップや研究留学等の大きな経費が発生する場合は、経費の全額ではなく一部支援となりますので、ご了承ください。

5-2-1 旅費、参加費等支給要件

- ・ペア学生と共に、その学期の指定するイベント等（資料1及び2）に参加すること（必須）
- ・参加報告書（旅費の場合は旅費報告書で兼ねることができる）を提出すること（必須）
- ・日本国内に本人名義の銀行口座を持っていること（必須）
- ・旅費、参加費等の経理処理に必要な証拠書類（領収書等）を入手すること（必須）

5-2-2 旅費、参加費等支給方法

逐次経理処理を行い、国内銀行口座に振込を行います。原則的には、学生が必要経費を旅費請求や立替請求し、各経費が学生の個人口座に支給されることとなります。

6. プログラムへの応募について

6-1 応募資格

- ① 大学院生または研究室に所属する学域生であること
(外国人研究生および短期交換留学生(JUSST 生)を含みます。)
- ② 本特別プログラムの趣旨を理解し賛同すること

6-2 定員

特別プログラム 1 つあたり、毎年私費留学生 8 名、日本人学生 16 名を最大数とします。2021 年 10 月期には、MICH 及び AiQuSci の 2 プログラムありますので、合計で以下の募集人員となります。

- ① 私費留学生： 16 名以内
- ② 日本人学生： 32 名以内

※ コロナ禍などによる渡日変更により、適宜調整を行う可能性があります。特別アワードは、2021 年 10 月以後の採用学期から授与を開始します。

6-3 募集受付

8 月 18 日 (水) ~ 8 月 31 日 (火)

6-4 選考と結果連絡

委員会が選考のうえ、9 月中旬に連絡します。

6-5 応募手続きと選考 (詳細後日)

応募用 Google フォームに、学籍番号、氏名、所属する類/専攻、研究室、卒業予定年度を入力し、以下の項目を記入の上、応募ファイル (ファイル形式・様式任意) を作成しアップロードください。

応募用 Google フォーム

<https://forms.gle/1AF3Y9AmbV6jBDmx5>

※電通大 Google アカウントからのみアクセス可能です

※応募ファイルの記入項目

本特別プログラムへの参加を通して

- ① 自身の身に付けたいこと
- ② 本学及び本特別プログラムへ貢献したいこと

- ③ 本特別プログラムへ興味を抱いた理由
- ④ これまでに体験した異文化交流の例
- ⑤ 外国語の学習に対する意欲・関心の度合い

上記をそれぞれ100～200字程度にまとめてください。応募ファイルにイラストや写真等を挿入しても構いませんが、1ファイルのみアップロード可能なので、別ファイルにはせず、1ファイルに組み込んでください。

※ランゲージパートナー希望アンケート項目

ペアリングの参考にしますので、特定の希望があればGoogleフォームの各項目に記入ください。

- ① 性別
- ② 日本語能力レベル
- ③ 英語以外の外国語
- ④ 1週間あたりの時間数
- ⑤ その他自由記述

お問い合わせ先

ryugakusei-k@office.uec.ac.jp

【資料1】

ほとんどの国費外国人留学生は英語で授業を履修することが想定されるため、以下に主として英語で履修可能な科目群を提示します。可能であれば、ペアになった学生で同じ授業を履修又は聴講できると良いと思います。

また、本特別プログラムに参加する日本人学生のために、本学ならではの特色ある科目群（スーパー連携大学院科目やデータアントレプレナーフェロープログラム科目）を提示します。これらの科目をペア学生同士で履修、聴講するために必要な経費は、本特別プログラムから支援されます。

【1. 国際科目（授業科目：一部単位取得可能、主要言語：英語）】

本科目は、短期留学プログラム生向けの英語による授業科目（合計24科目）です。国際科目として日本人学生にも開放されており、日本人学生と外国人留学生の協修を可能としています。詳細は下記WEBを参照ください（対象：国費外国人留学生、私費外国人留学生、日本人学生）。

前期：<http://kyoumu.office.uec.ac.jp/timet/kokusai1.pdf>

後期：<http://kyoumu.office.uec.ac.jp/timet/kokusai2.pdf>

【2. BHN 桑原基金寄附講座（授業科目：単位取得可能、主要言語：英語）】

本科目は、認定特定非営利活動法人BHNテレコム支援協議会より贈呈を受け、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」に関わる高い志の人材育成を目指して、英語により開講される科目です（対象：国費外国人留学生、私費外国人留学生、日本人学生）。

① 国際科学技術コミュニケーション論

International Communication for Science and Technology

集中講義形式で行われ、授業の後期に演習があります。全履修学生が合同で発表・討論を行います。

② SDGsを支える情報通信論

Information and Communications Technologies for SDGs

学期中15回の授業があり（集中講義ではありません）、学期の終盤に合宿形式の特別授業が行われます。経費面での学生負担は生じない予定ですが、必要があれば本特別プログラムとして支援することができます。

【3. 共同サステナビリティ専攻（授業科目：単位取得可能、主要言語：英語）】

共同サステナビリティ研究専攻は、東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学の三大学が共同で設置する複合新領域の研究専攻で、科目は全て英語で提供されます

(対象：国費外国人留学生、私費外国人留学生、日本人学生)。

①協働分野セミナーI,II,III,IV,V,VI：Interdisciplinary Seminar I,II,III,IV,V,VI

②サステナビリティ研究基礎 A,B：Foundations of Sustainability Research A,B

③上記科目の他にもセミナー等への参加が可能です。詳細は下記 WEB を参照してください。

<http://www.tufts-tuat-uec.jp/page/coproduction/curriculum.html>

【4. スーパー連携大学院（授業科目：単位取得可能、主要言語：日本語）】

スーパー連携大学コンソーシアムは、実社会で活躍するイノベーション人材の育成、共同研究の企画・実施、などの諸事業を大学間の連携および地方公共団体や産業界等との共同で実施しており、国公立5大学共同で33科目を提供しています。詳細は下記 WEB を参照してください（対象：国費外国人留学生、私費外国人留学生、日本人学生）。

<http://www.super-daigakuin.jp/study.html>

【5. データアントレプレナーフェロープログラム（授業科目：単位取得可能、主要言語：日本語）】

本科目では、データサイエンティストとしての素養を持ち、新たな価値を生むビジネスを創出できる人材として『データアントレプレナー』を育成することを目的とします。参加企業コンソーシアムがあり、就職のマッチングが可能です（対象：国費外国人留学生、私費外国人留学生、日本人学生）。

①データアントレプレナー実践論：Data Entrepreneur Practical Theory

②データサイエンティスト特論：Advanced Data Scientist

詳細は右記 WEB を参照してください。 <https://de.uec.ac.jp/curriculum/>

【資料2】

以下のイベント（学会、講義、合宿、インターンシップ、短期留学、アカデミックイベント等）について、希望者は参加することができます。これらのイベントにペア学生同士で参加するために必要な経費は、本特別プログラムから支援されます（一定の条件や上限があります）。

【UEC International mini-Conference for Student on Informatics, Sciences and Engineering (UEC mini-conference)】（主要言語：英語）

※全プログラム参加学生の参加が求められます。

本学の短期交換留学プログラム「JUSST (Japanese University Studies in Science and Technology)」では、留学最後に UEC mini Conference を開催し、1年間の留学の成果を発表します。国際会議レベルの高水準のアカデミック英語による口頭発表を行うためのトレーニングでもあり、本特別プログラムの参加学生にも成果発表や進捗報告の機会となります（対象：国費外国人留学生、私費外国人留学生、日本人学生）。

http://www.fedu.uec.ac.jp/en/future_students/jusst/

国費外国人留学生は、以下のように参加が求められます。

- ① 入学セメスターの初回参加時には、自身の研究テーマや計画のポスター発表を行います。
- ② 2回目参加時には、研究進捗状況の口頭発表を行います。
- ③ 3回目以降は、Mini-conference に参加聴講し、発表者への質問や後輩へのアドバイスが求められます。また、新規入学した後輩国費留学生のポスター発表や口頭発表への事前準備に対するアドバイスもあると良いでしょう。

私費外国人留学生および日本人学生は、每期 Mini-conference に参加聴講し、発表者への質問や後輩へのアドバイスが求められます。

【多摩コロキウム（文理協働コロキウム）】（主要言語：日本語又は英語）

東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学の学部生・大学院生が集まり、大学や分野の枠を超えた学生間の異分野交流を目的とした、学生主導の交流プログラムです。本特別プログラムから参加する場合には、日本人学生・外国人留学生混成の多国籍チームで参加・発表を行います。全体的に日本語で開催されるため、必ず日本人学生と外国人留学生のチームで参加する必要があります。2020年度以降はオンラインで開催されています（対象：国費外国人留学生、私費外国人留学生、日本人学生）。

<https://www.uec.ac.jp/news/event/2013/20140314-1.html>

【GLTP UEC セミナー】（主要言語：日本語又は英語）

本学 GLTP 生が中心になって学生が主催するセミナーです。年間で 15 回のセミナー開催が予定されています。そのうち 3 回程度を国費外国人留学生、私費外国人留学生が企画し、開催することが想定されています。2020 年度はオンラインセミナーとして行われました（対象：主として国費外国人留学生、私費外国人留学生）。

https://www.uec.ac.jp/news/event/2019/20191209_2221.html

【UEC ASEAN セミナー】（主要言語：英語）

本学と ASEAN 地域の協定校で共催する国際会議です。2019 年度は、タイの ECTI (Electrical Engineering/Electronics, Computer, Telecommunications and Information Technology Association) と共催しました。2020 年度はオンラインで開催されました（対象：国費外国人留学生、私費外国人留学生、日本人学生）。

<http://www.ecti-uec-ai2019.com/index.php>

【施設訪問（オープンイノベーションプログラム関連）】（主要言語：日本語又は英語）

本学先進理工学専攻が主催し、多摩地区の学外研究機関を訪問するプログラムがあります。そのプログラムでの施設訪問に、本特別プログラム参加学生が同行します（対象：国費外国人留学生、私費外国人留学生、日本人学生）。

<http://www.oi.es.uec.ac.jp/2018/index.html>

【国際 PBL（授業科目：単位取得可、全専攻）】（主要言語：英語）

本科目は、本学と北京郵電大が連携してプロジェクトベースドラーニング（PBL）を実施するものです。与えられた課題を協力して解いて行く過程で、参加学生が国際性と実践力を身につけることを目的としています。授業科目としては修士が対象となりますが、博士課程学生も参加可能になる見込みです（2020 年度は中止、2021 年度以降は未定です）（対象：国費外国人留学生、私費外国人留学生、日本人学生）。

http://www.emclab.cei.uec.ac.jp/xiao/PBL/2019_guidane.pdf

【国内インターンシップ・国際インターンシップ（授業科目：単位取得可）】

外国人留学生、日本人学生共通で学生のキャリアプランによります。国内企業への就職や日本産業界での活躍を目指す学生には国内インターンシップ、海外での就職を目指す場合には、国際インターンシップの機会を提供します。本学での教育研究活動に影響が出ないように、最長で 1.5 ヶ月程度を想定しています（対象：国内インターンシップは主として国費及び私費外国人留学生、国際インターンシップは主

として日本人学生)。

https://www.uec.ac.jp/news/event/2020/20200116_2320.html

【短期海外研究留学等】（主要言語：英語）

将来的にアカデミアを希望する学生に、短期海外研究留学や海外研修の機会を提供します。タイや中国への派遣となる短期海外トレーニングプログラムや、ラボ間で交流のある海外研究室への研究留学等が行われます。本学での教育研究活動に影響が出ないように、最長で1.5ヵ月程度を想定しています。研究留学先のアレンジ等を委員会で行うことはなく、研究留学先は指導教員等を通じて学生本人が探す必要があります。JASSO 協定派遣等の奨学金の受付や支給事務は留学生交流係で行います（対象：主として日本人学生）。